

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1309
施設名	美希保育園北参道
施設所在地	渋谷区千駄ヶ谷3-21-5
法人名	社会福祉法人美希福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

まち探検を通し、まずは自分の街を知る。そして「行ったことがある場所」「家族が関わりある地域」その土地の食べ物・文化・名所など関心を広げていく。自分で写真を撮り、自分だけの街マップを作るために、実際に写真を撮ったり、プログラミングの中で地図作りにも取り組むようにした。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

元々お休みに出掛ける家庭が多い印象があったがお当番活動のフリートークの場面で お出掛けの話をする子がいて、「そこを知ってる」という反応が見られた。観光雑誌を用意すると取り合いになるほど子どもたちの関心が高かった。そこでどこの観光雑誌が よいか尋ねると即決したり、何を紹介したいかもすぐに取り掛かる等、子どもたちに にとって取り組みやすいテーマだったように感じる

2. 活動スケジュール

8月のお出かけが一番多いタイミングで活動を開始した。その後、月1回を目安に活動を考えていたが、機器や素材の準備が整わず、間が空いてしまった時期もあったが、その期間に地図作りに向けて違った角度からの取り組みとしてプログラミングの活動も取り入れることが出来た。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

まち探検の際に園携帯、タブレット、使い捨てカメラを用意し撮影した。すぐに画像をチェック出来ない使い捨てカメラが不思議な感覚だったようであった。プログラミングで地図作りのタイミング、素材的にも子どもたちの地図作りのやる気スイッチをより増幅 させていた。カメラマン体験の際のチェキに対する反響も高かった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・日本地図を使って「行ったことがある場所」「家族が関わりある場所」に色を塗る。興味のある地域の観光雑誌を元にその土地の紹介をする。（食べ物・文化・名所等）地図に関する興味を高めるために、プログラミングで地図作りを個々だけでなく共同でも作る。実際にまち探検で写真撮影を体験する。さらにプロのカメラマンに写真の撮影やカメラに関しての知識も広げる機会を設ける。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・1月から3月に定期的に活動を展開できたことで、ご家庭でもタブレットを使って地図を見たり、カメラで写真を撮りたい、電車に乗る時に広告に興味を示すなどの反応があったという話が聞かれた。子どもたちが自然と園での活動を日常に繋げている姿が見られた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

（HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。）

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが関心を持つテーマは自然に活動が広がっていき、次から次へと子どもたちの発見やアイデア、不思議という感覚、「なんで」という追求心に繋がることを実感しました。昨年度よりも家庭での反響（保護者の声、子どもの家での様子）が増えた点は本活動を継続して良かったと素直に感じられる、まさに子どもの声に基づく活動の醍醐味であると感じました。